

2026 年度（令和 8 年度）日本学生支援機構貸与奨学金（大学院） 申請要項【予約採用】

1. 対象者

以下全てに該当する者

- （1）2026 年度（令和 8 年度）に本学大学院（博士前期課程又は博士後期課程）へ入学予定であり、申請時点で既に入学試験に合格した人（これから受験する場合は対象外のため、入学後の在学採用で申請してください。）
- （2）学業基準を満たす者：「2026 年度入学者用貸与奨学金案内（大学院予約）」P.8 参照
- （3）家計基準を満たす者：「2026 年度入学者用貸与奨学金案内（大学院予約）」P.8～9 参照



2026 年度入学者用
貸与奨学金案内
（大学院予約）

【日本学生支援機構貸与奨学金（大学院生用）【予約採用】の申請について

https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/scholarship/jassoscholarship/daigakuin-yoyakusaiyou/



2. 申請から採用までの流れ（スケジュール）

① 申請書類の受け取り

学生支援・社会連携課事務室に配架している申請書類セットをお取りください。

- 2026 年度（令和 8 年度）日本学生支援機構貸与奨学金（大学院）申請要項【予約採用】
- 2026 年度入学者用・奨学金案内ダイジェスト・スカラネット入力下書き用紙【大学院予約】
- 申請書類チェック表
- スカラネット入力下書き用紙（記入例）
- 「奨学金確認書兼地方税同意書」のセット（紫色の封筒）

お取りいただく
書類はこれが
1 セットです。

※申請書類セットの郵送をご希望の場合は、下記をご確認いただき請求してください。

＜郵送請求方法＞

返信用のレターパックライト及び、氏名、電話番号、メールアドレス、住所、郵送を希望する書類の名称（例：貸与奨学金申請書類一式、「奨学金確認書兼地方税同意書」のセット等）を記入したメモを同封し、学生支援・社会連携課経済支援係まで郵送してください。

郵送対応には数日かかりますので、郵送を必要とする人はお早めの請求をお願いいたします。郵送対応により申請期限に間に合わなかった場合でも、期限後の受付は認められません。

② スカラネット入力下書き用紙の作成（入力事項の記入）（2026 年度入学者用貸与奨学金案内（大学院予約）P.23～25 参照）

スカラネット下書き用紙（記入例）を参考に入力事項を記入するとともに、該当者は必要書類を準備してください。

※記入済のスカラネット下書き用紙はインターネット入力後に提出必須です。（本要項の P.2 を参照してください。）

③ スカラネット入力（インターネット入力による申請）（2026 年度入学者用貸与奨学金案内（大学院予約）P.26～28 参照）

下記 ID と PW を用いてスカラネットから申請を行ってください。

スカラネット <http://www.sas.jasso.go.jp/scholarnet/>

- 【ユーザ ID】 学生支援・社会連携課事務室前に配架して
- 【パスワード】 いる要項に記載されています。



入力前に必ずスカラネット下書き用紙に
必要事項を記入し、インターネット入力
による申請を行ってください。
入力内容に不備が多数ある場合、申請を
不受理とすることもあります。

スカラネット入力期間（厳守）

11 月 4 日（火）～ 11 月 28 日（金）

④マイナンバーの提出（インターネット入力）による申請（2026 年度入学者用貸与奨学金案内（大学院予約）P.29～33 参照）

スカラネットによる申込完了後に入れるようになるマイナンバー提出用のサイトからマイナンバーを提出してください。

マイナンバーの提出（インターネット入力）（厳守）
11 月 4 日（火）～ 11 月 28 日（金）

⑤奨学金確認書兼地方税同意書の提出

「奨学金確認書兼地方税同意書」のセットに同封されている専用封筒で、直接郵送で提出してください。

提出期限（厳守）	提出先
スカラネット入力・マイナンバーの提出後 <u>1 週間以内</u>	日本学生支援機構

⑥申請書類の提出

入力後、下記 1 と 2（3 と 4 は該当者のみ要提出）を下記提出期限までに学生支援・社会連携課経済支援係へ提出してください。

提出書類	対象	注意事項
1 申請書類チェック表	全員	
2 スカラネット入力下書き用紙 （入力事項記入済のもの）	全員	こちらは返却しませんが、入力内容に確認が必要な場合はスカラネット下書き用紙記入の内容をもとに確認の連絡をします。 控えは必ず手元に保管してください。
3 進学前離職を証明する書類	該当者のみ	書類の詳細は「2026 年度入学者用貸与奨学金案内（大学院予約）」の P.34 を確認してください。
4 在留資格・在留期間証明書類	外国籍の人のみ	書類の詳細は「2026 年度入学者用貸与奨学金案内（大学院予約）」の P.7 を確認してください。

提出方法	提出期限【必着】	提出先	注意事項
郵送※	12 月 5 日（金）17 時	学生支援・社会連携課 経済支援係（3 号館 1 階） （郵送先は最終頁参照）	※書留等の送付記録が残る郵便種別で送付してください。
「提出書類専用ドアポスト」への投函			投函可能時間以外に投函された書類については、大学は責任を負いません。 【専用ドアポスト投函可能時間】 8 時 30 分～17 時（土日祝日を除く）

⑦採用候補者決定通知書または不採用通知の交付

時期	注意事項
3月下旬（予定）	日本学生支援機構から書類が届き次第、大学から案内しますので、窓口まで受け取りにきてください。

⑧「大学院奨学生採用候補者決定通知（進学先提出用）」の提出（採用候補者のみ）

提出時期	注意事項
4月上旬～	⑦で受領した「大学院奨学生採用候補者決定通知」に必要事項を記入し、大学に提出してください。期限までに手続きを行わない場合、採用取消となります。 提出期限は大学からの案内をご確認ください。

⑨進学届の提出

提出時期	注意事項
4月上旬～	⑨にて不備なく書類提出した場合、手続きに必要なID・パスワードを通知しますのでインターネットにより、進学届を提出してください。進学届を提出することで採用決定となります。 期限までに手続きを行わない場合、採用取消となります。 提出期限は大学からの案内をご確認ください。

⑩申請結果通知の交付、返還誓約書の提出

事項	時期
奨学金初回振込時期	4月中旬～（予定）
申請結果通知等の交付	初回振込月の下旬（予定）
「返還誓約書」等の提出	初回振込月の翌月末（予定）

3. 申請前に確認すべき項目について

その他、「2026年度入学者用貸与奨学金案内（大学院予約）」を確認し、奨学金制度について理解した上で申請してください。

- ・「2. 貸与奨学金の種類と貸与額（P.5）」、「6. 貸与奨学金の交付（P.10）」（授業料後払い制度）…授業料支援金と生活費奨学金を無利子で貸与する制度です。この制度は修士課程でのみ利用できます。（注1）
- ・「8. 利率（P.11～12）」…第二種奨学金等の利率の算定方法。申請時に選択が必要です。
- ・「10. 特に優れた業績による返還免除（P.13）」…大学院第一種奨学金が対象の返還免除制度です。希望する場合、貸与終了年度に申請が必要です。（注2）（注3）
- ・「11. 返還方式（P.13～15）」…第一種奨学金返還時の返還方法。申請時に選択が必要です。
- ・「13. 保証制度（P.18～22）」…申請時に選択が必要です。採用後に機関保証から人的保証への変更はできません。

【注 1】大学院修士課程（博士前期課程）における「授業料後払い制度」について

参考 HP はこちら

大学院修士課程（博士前期課程）の授業料について、要件を満たす学生を対象に国が在学中の授業料を立て替え、返還は修了後の所得に応じて「後払い」とする制度です。併せて、生活費奨学金（上限月 4 万円）の貸与を受けることもできます。

ただし、日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を受けた場合、「授業料後払い制度」を利用することができませんので、「授業料後払い制度」の利用を検討している方は十分に検討した上で申請してください。



【注 2】【特に優れた業績による返還免除】

令和 5 年度以降に第一種奨学生として採用された博士後期課程学生が、フェローシップ事業に採用された（もしくは既に採用されている）場合、返還免除申請の対象外となります。

フェローシップ事業の支援が始まる前に奨学金を辞退した場合でも、返還免除申請は出来ません。

【注 3】【返還免除内定制度について】

参考 HP はこちら

入学前又は入学年度の申請に基づき、貸与終了時の返還免除の内定を受けることができる制度です。

- 博士前期課程：入学前に申請を受け付けます。詳細は 2026 年 12 月中に学生情報ポータルに掲載しますので、申請を希望する人は今後の情報に注意してください。（概要は別紙参照）
- 博士後期課程：入学年度の 1 月頃に申請を受け付けます。詳細は入学年度の 12 月中に学生情報ポータルに掲載しますので、申請を希望する人は今後の情報に注意してください。（概要は別紙参照）

※申請受付時期は現時点の予定です。必ず大学からの案内で最新の情報をご確認ください。



4. 注意事項

- ・奨学金の返還義務は学生にあります。返還可能な範囲で奨学金を申請してください。
- ・奨学生採用後、さまざまな手続きを学生が行うことになります。必ず学生が内容を理解したうえで責任を持って手続きを行ってください。
- ・**これまでに日本学生支援機構奨学金の貸与を受けたことのある学生で、奨学金に関する必要な手続き（返還誓約書の提出、リレー口座の加入手続等）を行っていない学生は採用されません。**
- ・申請受付までの準備、インターネット入力は余裕をもって行いましょう。
- ・「奨学金貸与・返還シミュレーション」システム(下記 URL)を用いて、返還総額や返還回数の試算が出来ますので、申請時の参考にご利用ください。**参考HPはこちら**



<本件問合せ先・書類郵送先>

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町 1 番地 京都工芸繊維大学 学生支援・社会連携課 経済支援係（3 号館 1 階）

TEL : 075-724-7143（平日 8 : 30～17 : 00） E-MAIL : shogaku@jim.kit.ac.jp

※奨学金に関して、大学から個別に電話、メール連絡する場合があります。**上記からの連絡には必ず応答してください。** 応答がない場合により生じる不利益について、大学は責任を負いかねますのでご注意ください。その他、お知らせは大学から案内しますので、随時確認し不利益が生じることをないようにしてください。